

ワシントン条約MIKEプログラムへの拠出 (MIKE: Monitoring the Illegal Killing of Elephants: ゾウ密猟監視プログラム)

【資料6】

令和6年12月 外務省地球環境課

概要・目的

- ゾウ生息国におけるゾウの保全と密猟対策を促進するため、ワシントン条約の下でゾウ密猟監視(MIKE: Monitoring the Illegal Killing of Elephants)プログラムを実施。
- MIKEは、ゾウ生息国や条約締約国による適切な管理及び法執行に関する政策決定に必要な情報提供を行うこと、並びに能力向上(ゾウの生息数及び違法捕殺件数のモニタリング、これらの情報を活用したより効率的な法執行、法的施策の強化等)を通じて、ゾウ生息国においてゾウ個体群の長期的管理を行うための行政能力を構築することを目標としている。
- 野生動植物の違法取引は、喫緊のグローバルな課題。日本政府は国際犯罪組織等による残虐な行為からゾウを保護するとの大義に深くコミットしており、ゾウ生息国における密猟対策への支援を重視。この一環として、MIKEプログラムを通じて支援を実施しているもの。

近年の実績

- 2018年度 モザンビーク: ニアッサ保護区における法執行センター及び象牙保管庫の建設 (109,000ドル)
- 2019年度 ザンビア: ロワーザンベジ国立公園における密猟監視施設等の建設 (76,798ドル)
- 2020年度 ルワンダ: 火山国立公園におけるゾウの調査、密猟監視機材の設置及びレンジャーの人材育成 (55,371ドル)
- 2021年度 ボツワナ: セロンガ地区におけるゾウの死因調査及び象牙回収 (55,375ドル: 実施中)
- 2023年度 (R4補正含む) ジンバブエ: 中央ザンベジ地域における調査・科学研究センターの建設支援 (計54,208ドル: 実施中)
- 2024年度 調整中

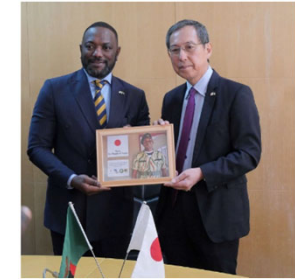
完成式典・報道の例



2024年2月に開催したルワンダ火山国立公園におけり密猟監視機材の設置及びレンジャーの人材育成事業の終了式(ルワンダ・キガリ)



完成した密猟監視施設(ザンビア・ロワーザンベジ国立公園)



引渡の様子(2022年9月1日: 於 ザンビア・ルサカ)



2022年9月2日付ザンビア「Daily mail」紙
(ロワーザンベジ国立公園における密猟監視施設等の建設の完成式典についての報道)